学校番号	416

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「歴史総合　新訂版　むすびつく世界と日本」（歴総 007-902）　（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

歴史総合の学習において主体的・対話的で深い学びを実現するために、様々な社会的事象の関連や本質を捉え、広い視点に立ち公正な判断ができるようにしなければならない。本校では ICT を活用し、かつ資料データなどを適時授業に投入することで、生徒の関心・興味を抱かせる。また、学習指導要領改訂を受けて、生徒自らが調査し、まとめ、発表する授業を取り入れる。現在起こっている社会情勢などが過去の事例とどう関連しているのかにも注目する。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
高校の歴史に関わる諸事象に関して、世界の歴史を理解するとともに、調査や諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
歴史に関わる事象をその年代その背景に着目し、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、それらを周りに効果的に説明したり、議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に，それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。	・近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの歴史の変化と，日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し，表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して，資料から読み取った情報の意味や意義，特色などを考察し，表現している。	・中学校社会科における学習の成果を生かし，必履修科目である「歴史総合」を学ぶ意義や目的，歴史的な考察の方法やその特質について，主体的に理解を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章　近代化への胎動	1 江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 2 幕府の政治改革と欧米諸国の日本接近 3 アジアの繁栄とヨーロッパ社会の変化	a：18 世紀のヨーロッパ・東アジア・日本の社会や文化，アジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b:18 世紀のヨーロッパ・東アジア・日本の社会や文化，アジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係に関する問いに対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c:18 世紀のヨーロッパ・東アジア・日本の社会や文化，アジア諸国と欧米諸国との貿易や国際関係の問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 ワーク グループワーク	ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 グループワーク 振り返りシート

	第2章　欧米の市民革命と「西洋の衝撃」	4 イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 5 フランス革命とウィーン体制 6 アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立 7 オスマン帝国の衰退とロシア 8 アヘン戦争の衝撃と日本の開国 9 江戸幕府の滅亡	a：イギリスの産業革命と欧米でおきた市民革命，欧米のアジア進出がもたらした社会の変化に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b：イギリスの産業革命と欧米でおきた市民革命，欧米のアジア進出がもたらした社会の変化に関する問い対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c：イギリスの産業革命と欧米でおきた市民革命，欧米のアジア進出がもたらした社会の変化に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 ワーク グループワーク	ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 グループワーク 振り返りシート

	第3章　欧米諸国と日本の国民国家形成	10　イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツの統一 11　明治政府の諸改革 12　日本のアジア外交と国境問題 13　自由民権運動と大日本帝国憲法	a：欧米諸国と日本の国民国家の形成，日本のアジア外交や自由民権運動に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b：欧米諸国と日本の国民国家の形成，日本のアジア外交や自由民権運動に関する問い対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c：欧米諸国と日本の国民国家の形成，日本のアジア外交や自由民権運動に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 ワーク グループワーク	ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 グループワーク 振り返りシート

2学期	第4章　帝国主義の時代	14　帝国主義の時代へ 15　朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 16　日清戦争後の東アジア 17　日露戦争と東アジアの変動 18　日本の産業革命	a：帝国主義における欧米のアフリカ分割と太平洋分割，日本の産業革命と東アジア侵出がもたらした国際関係の変化に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b：帝国主義における欧米のアフリカ分割と太平洋分割，日本の産業革命と東アジア侵出がもたらした国際関係の変化に関する問い対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c：帝国主義における欧米のアフリカ分割と太平洋分割，日本の産業革命と東アジア侵出がもたらした国際関係の変化に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 ワーク グループワーク	ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 グループワーク 振り返りシート

	第5章　第一次世界大戦と大衆社会	19 第一次世界大戦 20 ロシア革命とソ連の成立 21 米騒動とデモクラシー 22 ヴェルサイユ体制とワシントン体制 23 アジアの民族運動 24 第一次世界大戦後の欧米諸国 25 ひろがる社会運動と普通選挙の実現	a: 第一次世界大戦と国民生活の変化やロシア革命とその影響，戦後のヴェルサイユ体制とワシントン体制・アジアにおける民族運動・日本国内の社会運動に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b: 第一次世界大戦と国民生活の変化やロシア革命とその影響，戦後のヴェルサイユ体制とワシントン体制・アジアにおける民族運動・日本国内の社会運動に関する問い対し，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c: 第一次世界大戦と国民生活の変化やロシア革命とその影響，戦後のヴェルサイユ体制とワシントン体制・アジアにおける民族運動・日本国内の社会運動に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 ワーク グループワーク	ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 グループワーク 振り返りシート

	第6章　経済危機と第二次世界大戦	26 世界恐慌と各国の対応 27 ファシズムの時代 28 満洲事変と軍部の対応 29 日中戦争と戦時体制 30 第二次世界大戦の勃発 31 第二次世界大戦の終結 32 国際連合の成立と冷戦 33 日本占領と日本国憲法 34 朝鮮戦争と日本	a: アメリカで起きた世界恐慌がもたらした影響・各国の解決策・イタリア，ドイツのファスズム・日本の中国侵略や戦時体制に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b：第二次世界大戦における国際関係の変化，反ファシズムの抵抗運動や戦後新たに設立された国際連合の機能と限界，冷戦のはじまりと連合国による日本の占領に関する問い対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c: アメリカで起きた世界恐慌がもたらした影響・各国の解決策・イタリア，ドイツのファスズム・日本の中国侵略や戦時体制に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 ワーク グループワーク	ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 グループワーク 振り返りシート

3学期	第7章 冷戦と脱植民地化	35 植民地の独立 36 米ソ両陣営の動揺 37 日本の国際社会復帰と高度経済成長	a：第二次世界大戦後の植民地独立，米ソ両陣営の動揺や日本の 55 年体制の確立，アジアとの外交に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b：第二次世界大戦後の植民地独立，米ソ両陣営の動揺や日本の 55 年体制の確立，アジアとの外交に関する問い対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c：第二次世界大戦後の植民地独立，米ソ両陣営の動揺や日本の 55 年体制の確立，アジアとの外交に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 ワーク グループワーク	ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 グループワーク 振り返りシート

	第8章　多極化する世界	38　石油危機と世界経済 39　緊張緩和から冷戦の終息へ 40　日本の経済大国化	a：石油危機や中東情勢，ソ連解体が世界に与えた影響や日本の経済大国化に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b：石油危機や中東情勢，ソ連解体が世界に与えた影響や日本の経済大国化に関する問い対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c：石油危機や中東情勢，ソ連解体が世界に与えた影響や日本の経済大国化に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。単元の学習を適切に振り返り，学習改善しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 ワーク グループワーク	ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 グループワーク 振り返りシート
	第9章　グローバル化と現代世界	41　地域紛争と対立 42　国際秩序の変容	a：冷戦後の世界情勢，9.11以後の戦争の変化や国際秩序の変化に関する基本的な知識を，複数の史・資料を活用し十分に理解できている。 b：冷戦後の世界情勢，9.11以後の戦争の変化や国際秩序の変化に関する問い対して，歴史的なものの見方・考え方に基づいて思考し，複数の根拠を基に判断・表現できている。 c：冷戦後の世界情勢，9.11以後の戦争の変化や国際秩序の変化に関する問いに対して，粘り強く自らの答えを出そうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 ワーク グループワーク	ﾌﾟﾘﾝﾄ提出 グループワーク 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度